



4年生のみなさんの

声

(感想)

(1) 谷川士清さんについて教えてくださってありがとうございました。分かったことは、谷川士清さんは、五十音順の国語辞典をつくったことが分かりました。あと、谷川士清さんの人生もわかりました。私も谷川士清さんのことを調べてみたいと思いました。ありがとうございました。(横山 凜奈)

*

(2) 谷川士清さんのことについて、いろいろ教えてくださってありがとうございました。士清さんの名前は知っていたけれど、何をしたらかはわからなかったもので、知れてよかったです。国語じてんを作るなんて思いつかないけど、こんなのを思いついてすごいなと思いました。パンフレットやDVDなどを見て、今の字と昔の字はちがったんだなということが分かりました。(田中 茉里亜)

*

(3) 谷川士清さんについて教えてくださってありがとうございました。谷川士清さんは、21000このカードを集めて、それを50音じゅんにならべかえてじしょを作ったので、とてもたいへんだったなと思いました。谷川士清さんの家が今ものこっていることをしって、びっくりしました。士清さんはたくさんの本を作っていて、すごいなと思いました。和訓栞はとくに93かんも作ってすごいなと思いました。(小林 安里)

*

(4) 谷川ことすがさんは、日本ではじめて50音順の国語辞典を作ったのが、すごいなあと思いました。谷川ことすがさんは和訓栞が完成する時に、なくなってしまったのが、ざんねんだと思いました。ありがとうございました。(村田 妃奈子)

*

(5) 今日はほんとうにありがとうございました。谷川士清は「日本ではじめて五十音順の国語辞典をつくった」と聞いてびっくりしました。士清さんの家にまたいきたいです。まだ家がのこっているんだなあと思いました。私にとっては、いい国語辞典だと思っています。士清さんは67さいでなくなったのですごくかわいそうです。(吉田 珠姫亜)

(6) 谷川ことすがのことを教えてくれてありがとうございました。谷川さんのけんきゅうはすごいとおもいました。色々なことをわかってくれるような会もがんばってください。谷川士清さんはすごいと思いました。ありがとうございました。(和田 たいが)

*

(7) 谷川士清さんの事がくわしくわかりました。ビデオをみて士清さんの住んでいる(いた)所はわかりました。私が思った感想は、ビデオを見てもわかったし別所さんがはなしてくれたこともよくわかりました。いろいろな事がわかりました。ありがとうございました。(澤 純子)

*

(8) 谷川ことすがさんは、(50音順の)国語辞典を最初に作っていて、そんなことをよく思いついたなあと思いました。私は、津市にそんなにすごいことをした人がいるなんて思わなかったけど、いる(いた)ことがわかってよかったです。谷川ことすがさんのことをくわしくおしえてくださって本当にありがとうございました。(増井 七羽)

*

(9) 谷川士清さんがどんなことをしていたか、こんなことをしていたよという事をおしえてもらい、国学という意味が分かりました。谷川士清旧宅の場所もわかりました。谷川士清さんのおはかがたっていることも分かりました。説明もていねいにやってくださってありがとうございました。(和仁 将登未)

*

(10) 谷川士清さんのことをこの話を聞くまでわかりませんでした。でも今日はとてもくわしくせつめいしてもらえたのでよかったです。それに士清さんがいなければ、いまの国語じ典がなかったなと思いました。(堀内 佑真)

*

(11) 日本ではじめて五十音(順)じてんをつくったのが谷川士清さんです。べっしょさん、やさしくいろいろおしえてくださってありがとうございました。ぼくは、谷川士清さんのなまえをおぼえておきます。(藤井 しんのすけ)

編集後記

第2号から今回の第14号までずっと担当してきているが、ややマンネリ気味になってきた気がする。

この辺で新機軸を出したいと思い、学年全体で11名という高宮小学校4年生の出張講座に出られた別所勝さんと初体験の山下孝治さんへのお手紙を採用させていただいた。4年生のみなさんは、どんなことに興味を持ち、どんなことに感謝するのか、そこから出張講座の雰囲気や話しぶり、姿勢まで伺い知ることが出来てよかったと思う。

もっとも、発行までに学校側に掲載についての内諾を得た。

さて、今年度の勉強会は6回と例年になく充実していた。以前研究部会のページとしていた第2面(以前は片山武先生の講座のまとめ)は、行事・活動記録のややくわしい程度で紙面が埋まってしまった。当初4面の計画だったので依頼原稿が少なかったが、書道コンクールには写真がたくさんあった方が楽しくなると思われ、4面には収まりきれなくなった。予算のこともあるが、紙質を軽いものにして印刷所にも無理をお願いして6面とした。

「まなびの栞」(馬場代表発案)は軌道に乗ってきてよかったと思う。派手なイベントよりも、会員自らの地道な研修、研究の雰囲気と時間を確保していくべき時かと思われる。楽しみも必要ではあるが…(佐野記)